

東芝テックOB会だより

第21号 2011年3月31日

このたびの『東日本大震災』により
被災された会員の皆様に心より
お見舞いを申し上げます。

東芝テックOB会



会員の広場

オールディーズ

～田嶋一郎さん～

先輩諸氏にも同じご経験をなされた方が多数おられると思いますが、私の少年期はアメリカ漬けでした。テレビを見れば“拳銃無宿”や“77サンセットストリート”の様な恰好よいアメリカ映画が氾濫（現実のアメリカが映画のように恰好良くないことは後年駐在して良く分かった!!）。音楽はアメリカンポップスの全盛期で日本の歌手もアメリカンポップスのコピーを歌うばかり。ませていた私は、土曜夜の駐留軍放送FENの“ビルボードトップ20”を聴いてアメリカで流行しているポップスを先取りし、日本ではやる前に銀座ACBでリクエストして得意になっていました。

社会人になってアメリカへの単純な憧れは無くなりましたが、アメリカンポップス熱は現在まで継続しています。エルビスを始め、リッキーネル



ソン、コニーフランシスなど、5/60年代のポップスは今でも良く聞いています。また六本木などにある5/60年代のアメリカンポップスをコピー演奏しているライブハウスには今も時々行っています。

不思議なもので、1970年以降のポップスはあまり私の琴線に触れることがありません（別の趣味

で無線機いじりもしていますが、使用しているのは全てアナログ・真空管式のみ。トランジスターやLSIはどうして動作するのか理解できないし興味が湧きません!!)

今だから話せますが、7～8年前“カラーに口紅”の大ヒットで有名なコニーフランシスのショーがラスベガスであったので、海外出張をわざとその時期に合わせショーを見に行ったことがあります(無論追加滞在費は個人負担)。当夜興奮して最前列で待つこと20分、やっと演奏が始まってもコニーは一向にステージに現れず。そのうち変な婆さんがステージに現れました。しばらくしてやっとその婆さんが今まで憧れていたコニーと判明。その婆さんは声も出ないし、かつての美貌もなし。失望すること大、余程途中で帰ろうかとも思いましたが、隣のアメリカ人の同年輩のおばちゃんにそそのかされ結局最後まで聴いた上、コンサート後、彼女と握手までしてしまいました。でも楽屋で見た彼女は車椅子でした。一世を風靡し

てからウン十年。コニーも見わけがつかないほどの婆さんになるはずです。

現役時代は海外出張が多かったので、出張を利用?してパットブーン、ポールアンカ、コニーステーブンスなどのショーも観ました(ボス、すいませんでした!!)。

さてアメリカンポップスカぶれの軟派のままで定年を迎え、一念発起してドラムを習い始めました。昨年からビートルズのコピーバンドをしている現役のドラマーの自宅まで行って教えてもらっています。何せ60何歳からの手習い、運動神経が要求されるドラムの演奏に苦勞していますが、何とかすこし曲を演奏できるようになりました。次なる野心はバンドを組むこと。それもビートルズか5/60年代アメリカンポップスで自分の好きなジャンルの音楽のバンド!と夢見ています。OBの方でビートルズやアメリカンポップスのギターを演奏される方はおられませんか? バンドの為なら三島でも大仁でも参上いたします。

私の趣味

～関口重男さん～

退社して早くも15年、改めて月日の経過の速さを痛感しています。この間、さして退屈することもなく楽しく過ごすことができたのは、絵や写真の趣味を通じて、好奇心の赴くまま頭や体を使って楽しみ、又多くの知人との交遊に依るものと思っています。

私は幼少の頃より運動や派手な行動は苦手で、音痴ときているので、ゴルフ・麻雀・カラオケなどは馴染めませんでした。かといって芸術的センスや感性が優れていた訳ではなく能力もありません。

では何故こんな方面に興味をもつようになったかと言うと、写真の方は昔から記念写真を主に撮っていましたが、大仁工場の写真部に入ってあちこち撮りに行き、又薦められて日本写真会という会に所属して行動範囲が広がった訳です。しかし主な興味の対象は、作品の良し悪しよりカメラ・レンズの構成や特性で、技術面の追及でした。絵画の方も昔から絵は好きな方でしたが、仕事以外に何か気分転換になるものかと思っていた所、三

島に油画の同好会があることを知り参加してみました。絵を描いている時は何もかも忘れ、多方面の同行の人々とワイワイガヤガヤとやっていると楽しく、気分転換にはもってこいでした。しかしこれもうまい絵の方には進まず画材の特性や技法、色彩や構図の心理的効果などに関心が行き、有名な画家の展覧会に行っても作品の鑑賞より表現の技術的手法に目がいってしまいます。こんなことは邪道かもしれませんが、持って生まれた性分や長年の環境がもたらしたものかと思っています。所詮趣味なのですから好きなことを好きなように楽しめば良いと思っています。

最近の絵画・写真も技術・表現方法の変化は激しく、デジタル化・素材の多様化が進み私のような高齢者には追いつけぬ様相を呈しています。しかしこれも無理をせず、興味を持って知ることを楽しみにしてゆけば、相乗効果と共に間口と奥行きが広がり、新たな興味を生み出すことに繋がってゆくことになるかと思っています。

歩け歩け！ 健康への第一歩

～藤野公男さん～

この度は入会させて頂きありがとうございます。1994年4月から2000年3月まで6年間在籍しお世話になりました。

約4年前に大腸憩室症という病気で2週間ほど入院の憂き目に遭いました。爾来、担当医師の言い付けを守って歩け歩けの年金生活を続けております。

- ①自宅近辺の散歩（週5日、1万歩）
- ②地域ボランティアが主催する神奈川歴史散歩（春8回／秋8回、5km）
- ③健保連かながわウォーク（月1回、8km）
- ④その他OB会ウォークなど（平均月1回、5～8km）

お陰様で年1回の大腸内視鏡検査も何とかクリアしてきております。

当会主催のファミリーウォーキングも春と秋に開催されているようなので、今年は機会を見て是非参加したいと思います。

加えて会社のOB・学生時代の仲間との出会いを継続でき、併せて歩け歩けの一環にもなること

から、春秋中心に月平均2回のゴルフを楽しんでいます。当会OBの方々とも年1～2回、伊豆方面のゴルフ場で旧交を温めております。

上記のほか親父が田舎（熊本・菊池）で弟家族と一緒に同居して健在なので、年最低1回は学生時代の同窓会などの日程に合わせて実家へ赴いております。実家に帰ってもできる限り歩くことにしておりますが、私が育ったころと異なり車社会になりましたので如何に車の少ない道を選んで歩くかに苦心しております。

40年余りも会社と都会の喧噪の中にいましたので、余計に「ふるさと」という歌が心にしみる年となりました。

*うさぎ追いしかの山

（阿蘇外輪山最高峰、鞍岳の麓で生を受けました）

*こぶな釣りしかの川

（菊池川の支流、合志川で泳ぎ魚を取りました）

これからも機会ある毎に田舎（故郷）を大事にしていきたいと考えております。

首都圏ファミリーウォーキングのガイドをしています

～鎌田芳郎さん～



旧江戸城天守閣跡でテックOB参加者



隅田川堤桜ウォークのガイド

私は周辺情報通信から最終所属、輸出管理本部を平成13年に退職しました。

退職後、大田区シルバー人材センターで社会奉仕活動委員をやるなかで、仲間達と心地よい汗をかくことは、きっと健康増進やストレス解消になり、かつ地域社会への奉仕活動に参加するという

ことが結果として、自身の健康維持にもつながると思い、「大田の魅力再発見ウォーク」のボランティア活動に参加し、ボランティアで「江戸東京散歩」のウォーキングガイドをはじめました。始めは趣味と健康を兼ねて、東は江戸川から南は多摩川まで、くまなく各地の郷土博物館と名所旧跡

を目当てに、ほぼ東京都内全域を調べ、ウォーキングして回りました。

「OBリレー首都圏ファミリーウォーキングの案内人」になる、きっかけは、元OB会副会長の山崎恒久さんのお誘いでした。「女性OBも家族も参加できるファミリーウォーキング」を目標に平成21年から案内人を引受ける事になり、OB会常任幹事の吉田昭太郎さんのもとの、春と秋に「旧江戸東京散歩」をシリーズとして開催、コースガイドの作成で数回ウォーキングコースを取材します。現在「第三弾・上野寛永寺、幕末最後の戦いの戦跡をたずねる歴史ウォーキング」まで実施しましたが、そのつど歴史的再発見があり、ガイドする喜びが倍増しております。

「上野寛永寺歴史ウォーキング」をやった時に

は、幕府最後の将軍、徳川慶喜の墓に調べに行き、なぜ慶喜公が寛永寺の将軍の墓所に入らなかったのか？なぜ円墳状の神道の墓なのか？疑問に思い、地元のボランティアに聞いたり、歴史を調べたり……結論は勝海舟の口添えで明治天皇より新政府の公爵に任命されており、その恩義で生前に神道の墓所を谷中霊園に作ったのではないかと……との憶測をいたしました。ウォーキングのあと、ささやかな打ち上げ会をするなかで、テックでの思い出とともにウォーキングの感想で盛り上がりを見せました。

東京は300年の歴史を持つ江戸の上に東京ができていますので、史跡めぐり、歴史探訪のウォーキングに事足りません。これからも「OBリレー首都圏ファミリーウォーキング」にご期待下さい。

アルゼンチン(パタゴニア)に撮りに行きました ~吉瀬辰一さん~

長い歴史に育まれた景色のなか、人の英知が作り出したSLが溶け込んで走る風景を撮りにあちら、こちら“カメラ”を肩にぶらぶら歩きをしています。1975年、5月連休を利用して台湾(阿里山)に撮りに行ったのが最初。その後、間が空き、1995年から南アフリカ、トルコ、アメリカ、インド(ダージリン)、アルゼンチン(パタゴニア)、中国(石溪)などを訪れた。(その中には繰り返し行った所もある)

その国それぞれの“特徴ある景色、そしてその

景色の中を走るその国独自のSLとのコラボレーション”は、心を惹きつける。場所、日、時間によって静(自然)と動(走るSL)との微妙な調和が演出される一幅の絵はすばらしい。海外では、ヘッドマークをつけるでもなし、格式ばらず周囲に溶け込んで自然体で走る。撮影ポイントでも少人数の人たちがお互いにマナーを守り、緊張しつつ、近づいてくるSLを静かに待つ雰囲気は暖かい友情さえおぼえる。

その中の一つ。地球の反対側、日本から一番遠い“地の果て”といわれるパタゴニアでの思い出。日本を出発、アメリカへ。ニューヨークからブエノス・アイレスまで約10時間、さらに乗り継いで2時間、BARILOCHE(バリロチェ)空港に着く。空港で初めて見たパタゴニアの澄んだ青空、浮かぶ白い雲に好印象。そこから車で約185km。やっと目的地EL BOLSON(エルボルソン)に到着。パタゴニアの寒さを知る。次の日、列車が薪ストーブで暖かく迎えてくれる。綺麗な虹が朝空にかかる。

アンデス山脈に近い大平原では、静寂な深閑とした汚染もない空気を肌で感じる。ESQUEL(エスケル)、NAHUEL PAN(ナ



変化の多い景観のなかを行くSL 聞こえるのはSLの息づかいだけ

ウエルパン)までの車窓からは原野に放牧された羊や牛の群れが見られる。兎が跳ねる。鷹がいる。降りて歩いていると、所によっては足元に野生動物の白骨や糞がある。いろいろな環境でフォトランを楽しむ。人っ子ひとりいない、音もない荒涼とした原野に、MAYOCO (マヨコ) という廃墟のような駅がある。人の手が入っていない大自然の感じ。置いて行かれたら悲劇だ。考えると背筋が“ゾーン”とする。“出発するぞ・乗り遅れはないか”と何回も注意の汽笛が鳴る。

世界の最南端の駅ESQUELでの出来事。駅に着いたら突然、地元のマスコミのフラッシュでびっくり。「こんな遠くまで日本からSLを写しに来たグループは珍しい」との取材。現地のTVで放

映され、新聞にも載った。パタゴニアは日本から遠いという実感がする。

広大な国。ところ変わればMAITEN(マイテン)のように、小さい街だが静かで車道も歩道も広く、大きな木が植えられている緑の中央分離帯、洒落た看板の小奇麗な店が多い美しい処もある。建物は内装も外装も殆ど木造。ぬくもりがある。雪山が見える。散歩も楽しい。またBARILOCHEのように広い美しいナウエル・ウアビ湖を抱えた、洗練された街もある。歴史を大切にしている感じのパタゴニア博物館がある。風景やウインドウショッピングが楽しめる街でもある。

自然の雰囲気、友情、お国柄などに感謝しながらの旅の思い出の“ひと雫”です。

楽しい銀色人生の始まり

～大坂規久さん～



平成21年の9月末に定年退職してから、1年半が経ちます。これまでの人生の2/3にあたる42年もの間、会社に支えられ仕事中心に生活してきましたが、退職後は定職に就かずに、今までできなかったことや我慢してきたことに新たに挑戦または再挑戦しています。体は加齢によるほころびが出ているので、75歳までと決めて細く短く。

家での引きこもりを無くすために、自分を鼓舞して外に(OB会も含めて)出るように心がけています。地区の役員を引き受け、地域主催の園芸・料理講習会や体操教室と、なんでも首を突っ込んで、地元での知り合いも増えました。皆、同じような年代で同じような目的を持って参加しているので話が合います。またサラリーマン以外の

職種の人との触れ合いが増えて、サラリーマンの定年後は大変恵まれていることがわかりました。

小遣い稼ぎとボランティア気分で、パソコン・アドバイザーのバイトを手伝っています。元々パソコンのハード・ソフトには詳しいので、出張でのパソコンの家庭教師やトラブル解決です。中小企業などはパソコンのことで相談する人が身近にいなかったり、高齢者でもパソコンを使いたい人もいるのでお手伝いしています。ここでも色々な方と知り合いになることができ、特技を生かしてよかったと思います。バイト代は飲み代とパソコンパーツ代に化けますが。

下手の横好きで、趣味ではやりたいことがたくさんあります。読書、歴史、映画、落語、音楽、ハーモニカ、ウォーキング、ガーデニング、家庭菜園、等々。わずかな年金からの支出は最小で済ませられますが、時間は買うことができず、どれも熱中できるまでは程遠いです。10年以上前に始めたパラグライダーも、定年後はパラ三昧と期待していましたが、なかなか飛べるチャンスがありません。

退職後、すぐにOB会に参加しました。諸先輩や元同僚らと話を交わせる機会と捉えて、これからは行事には積極的に参加しますので、遊んでください。

支部ニュース

伊豆 / 伊豆の国 / 沼津の三支部 発足

既に活動を始めている三島・函南支部、駿東支部に加え、伊豆支部、伊豆の国支部、沼津支部が発足しました。

支部総会のご案内 ~あなたも参加してみませんか~

三島・函南支部

三島・函南支部総会を5月18日に開催の予定です。
総会第二部として健康管理講演会“ストレッチ&転倒防止のための体力向上”を予定しております。
詳細につきましては後日お知らせいたします。三島・函南支部以外の会員でも参加は構いません。
不明な点は幹事にお問い合わせください。

駿東支部

駿東支部総会を5月25日 14時より開催いたします。会場は東芝テック 静岡事業所です。
封書にてご案内済みですが、不明な点は支部長/東までご連絡ください。

伊豆の国支部

伊豆の国支部総会を6月8日 12時より開催いたします。会場は東芝テック 静岡事業所です。
事業所見学ができます。希望者は10時30分までに受付をしてください。

事務局より

《会員の状況》(H22/10—H23/3)

☆新会員

赤羽清治さん、井沢孝次さん、納 浩さん、桑田俊幸さん、児玉英治さん、小堀雅生さん、佐伯利一さん、柴田一男さん、関目 茂さん、中川敏英さん、松本芳昭さん、山田勝治さん

☆逝去会員

金成久寿さん (H22/1)、永田善一さん (H22/5)、鳥沢正次さん (H22/10)、戸栗大文さん (H22/10)、増田 仁さん (H22/11)、鈴木睦二さん (H22/11)、藤 英夫さん (H22/11)、木下義則さん (H22/11)、栗本行智さん (H22/12)、久保元吉さん (H23/2)、杉田留一さん (H23/2)、上田一岳さん (H23/2)

※事務局からお詫び

OB会ホームページに誤って、ご存命の方のお名前を掲載してしまいました。

記事を削除し、ご本人様には直接、謝罪させていただきました。

この場をお借りし、会員の皆様を驚かせてしまいました事をお詫びいたします。

今後、この様なことがないように、十分気をつけます。このたびは申し訳ございませんでした。

《お知らせ》 今回の『起業家紹介』はお休みとさせていただきます。

《お願い!》『起業家』をご紹介ください

今回、お休みさせていただきました『起業家紹介』のコーナーですが、ご紹介可能な“起業家”を探しています。皆様の周りに本会報でご紹介させていただける“起業家”がいらっしゃいましたらご連絡ください。

※連絡先

〒141-8664 品川区東五反田2-17-2 (オーバルコート大崎マークイースト8F)

東芝テック株式会社 総務部 業務・安全担当 林宛

e-mail : Mariko_Hayashi@toshibatec.co.jp Tel : 03-6422-7001 Fax : 03-6422-7111

《その他》 東芝テックOB常任幹事会が開催されました

1. 開催日 平成23年2月25日(金) AM10:00～12:00
2. 場 所 大崎本社2F 2B1会議室
3. 議事内容 (抜粋)

①最近の会社動向等について

◆会社業績は第3四半期決算の内容では売上高が2,694億円で前年同期比1%増。営業利益は約107億円で前年同期比76%増という結果です。

通期見通しは、売上、利益共に変更せず、それぞれ、売上3,800億、営業利益150億です。

現在、目標達成に向けラストスパートをかけているところです。

◆テックエンジニアリングの社名が決定し、「東芝テックソリューションサービス(株)」となる。

◆全国の支社店(TE含む)に設置してある「TEC」看板を「TOSHIBA」へ今期末までに変更する。

◆秦野事業所について、本年1月21日に売却、引渡しを完了している。

②会員未納者について

	1年未納者	2年未納者	3年未納者	計
H21/8	127	71	26	224
H22/8	117	32	27	176

③HPの改善について報告（変更内容抜粋）

- ◆HP制作会社をテックインフォメーションからヒューマン・エンジニアリングに変更する。
変更することでより対応が良くなり、経費面でもコストダウンが図られる。
- ◆HPへの掲載が誰にでもできるようになる。
- ◆訃報の掲載が事務局で対応可能となる。

④同好会その他

趣旨を同じくする会員の相互交流を深め会員の生活向上に役立つことを目的として同好会の拡大に努めてきましたが、引き続き同好会設立の支援を進める必要がある。

⑤支部長会議設置について

静岡地区に三島函南、駿東、沼津、伊豆、伊豆の国と5支部が設立されたのを機会に支部相互の積極的な交流を図ることにより、効率的な活動を期待して設置することにしたい。

⑥今後のOB会運営について

第16回総会で報告した平成21年度の収支は44,790円の赤字を計上することになりました。
今後は会員の増加が期待できないので極力会費収入と支出のバランスを慎重に判断しながら会の運営を進めたい。又、会社の強力な支援を引き続き期待したい。

⑦広報誌“OB会だより”の構成記事について

これまで広報誌のあり方について、過去幹事会で検討した経緯の記録がないのであらためて、幹事会に提案した結果、現状の基本構成で編集発行することとした。但し、広報誌は限られた発行回数とページ数から会員1人1人が紙面に参画していただくことを基本に運営していく。又、編集責任は当面会長として、事務局に協力して発行し、結果責任は会長が負う。

⑧その他要望意見等

- H23年度版カレンダーの配布についてOB会より会社の配慮に対しお礼を申し上げ、今後とも業績の向上を期待し継続する様お願いした。又、事務局より、多くの会員から電話・メール等によるお礼の報告があった。
次年度についてはOB会の目的である会社とOBとの絆を深める有効な方法としてカレンダー発送の際は会社からOBへのメッセージを同封する様要望した。
- HPに掲載する記事の内容について一定の基準（内容掲載期間等）を設定し明示する必要があるのではないか。又、HP全体の運用管理責任者は誰か決めておく必要がある。
- OB会として収入を計るため、広告等を検討したらどうか。
一東芝グループおよび支部近隣の会社へのアプローチを行う 等